



## 安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
  - ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫的程度を明示するために、誤った取り扱いをすることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- △警告：**人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
- △注意：**人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
- お守りいただく内容の種類を次の総表示で区分し、説明しています。
- 総表示の例

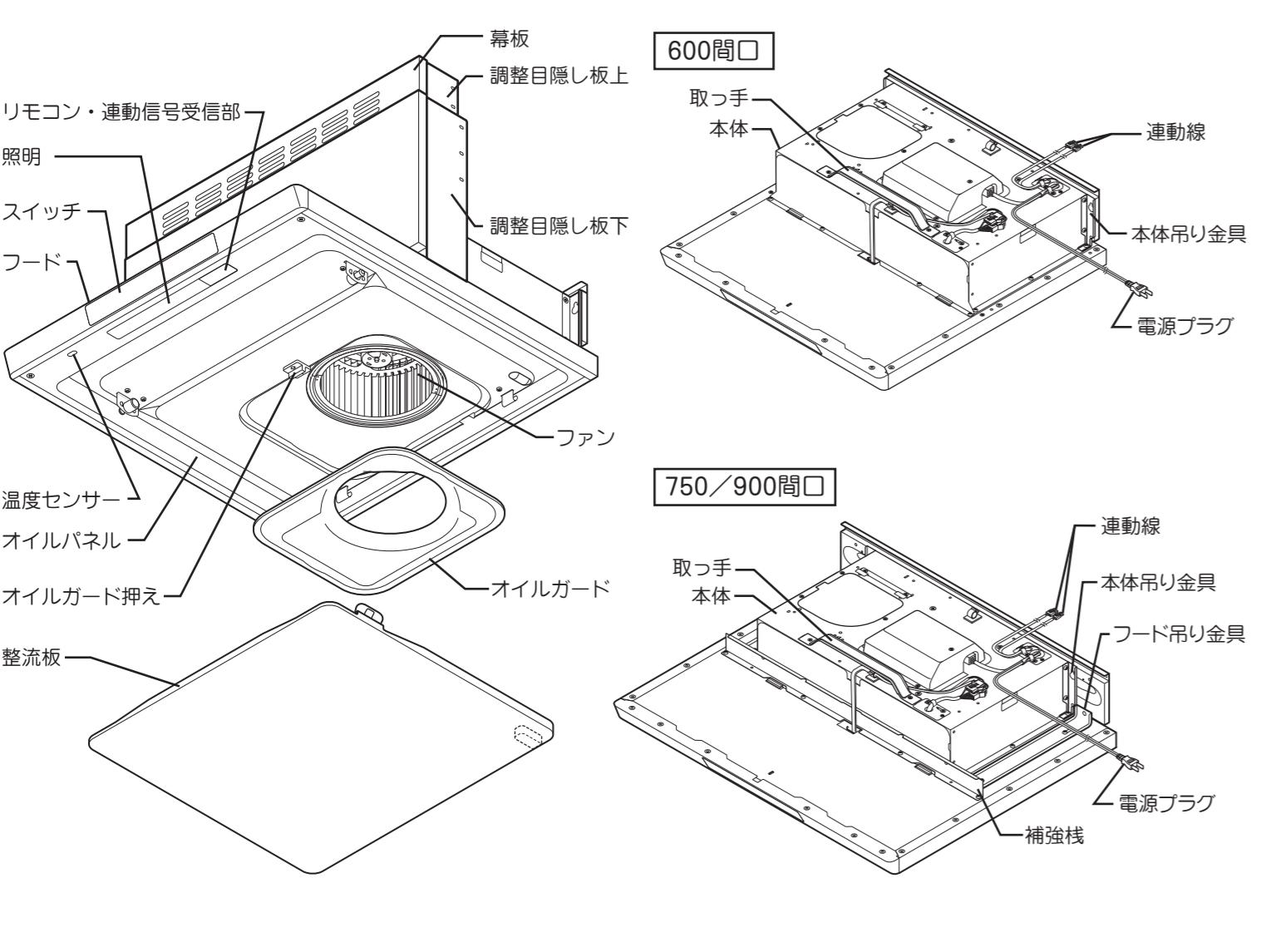
- 分解・修理・改造禁止
- 交流 100 V 以外では使用しないこと
- レンジフードの壁への埋め込みしないこと
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
- アースを確実に取り付けること
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください
- 取付注意
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気に接触しないよう取り付けること
- 灰火などの原因になります
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
- 自然排気型のストップを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分強度のある配慮をすることが必要です
- 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起すことがあります
- 浴室など温湿度の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください）
- 感電および故障の原因になります
- 周囲温度が 40°C 以上になるところには取り付けないこと
- 灰火・故障の原因になります
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
- 落下によりけがをするおそれがあります
- レンジフードの取り付けは、必ず厚手の手袋をすること
- 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります
- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
- 落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
- 落下によりけがをするおそれがあります

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
- 手袋をする
- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
- 落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
- 落下によりけがをするおそれがあります

## 取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
  - ・大工事【設置のための下地工事等】
  - ・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】
  - ・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
- 流通業者（販売店）を通じて組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。
- ダクトの不燃処理について
- ・ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国士安大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
  - ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご利用ください。
- 調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるペントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は  $400 \text{ m}^3/\text{h}$  时  $50 \text{ Pa}$  以下ものをお使いください。
- 防虫網付きものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。

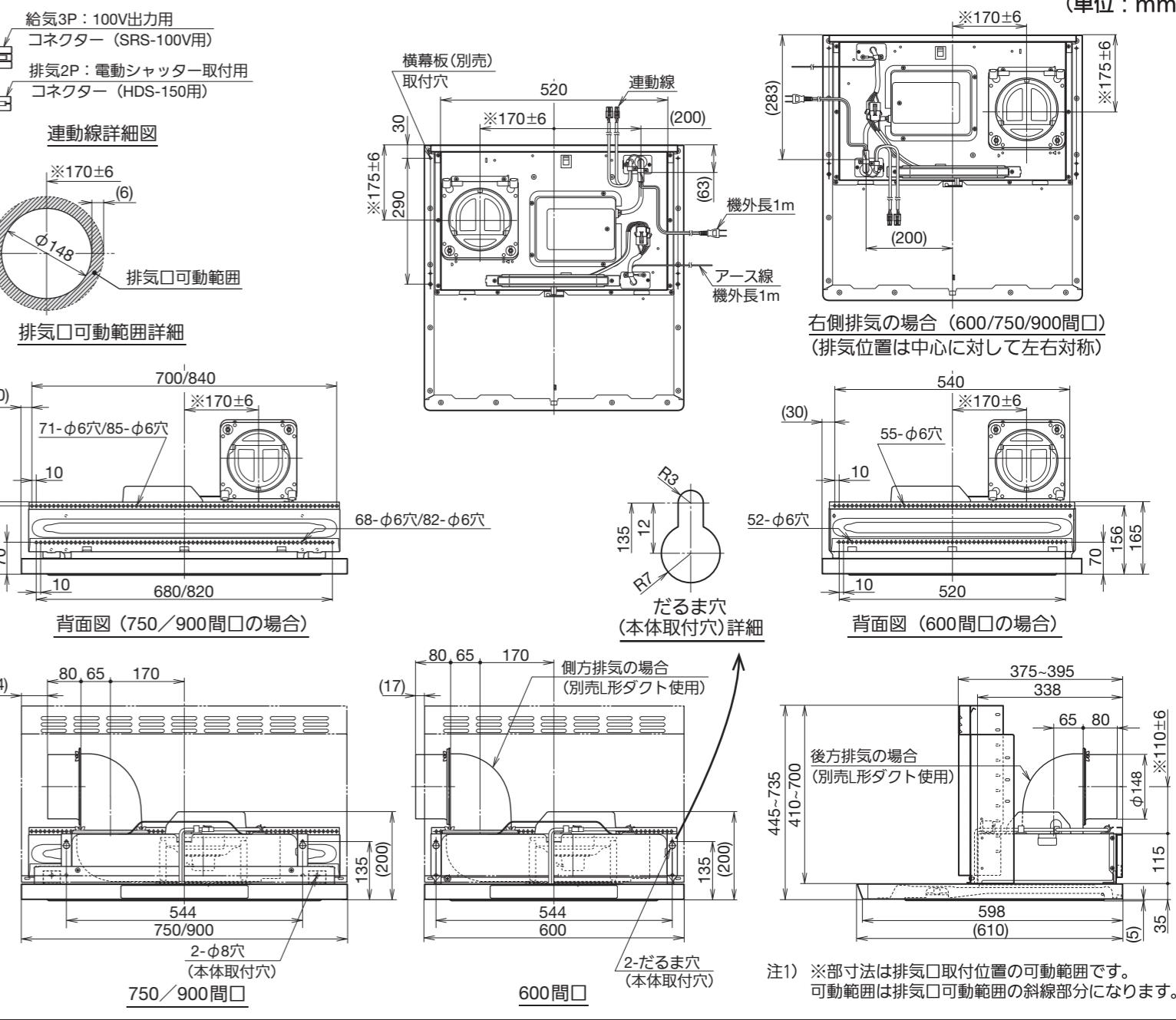
## 各部のなまえ



## 付属品

- 座面ねじ（φ 5.1 × 45）4 本  
取付ベース・取付ベース引掛桿の取り付けに使用します。
- 低頭ねじ（M4 × 8）4 本  
別売 L 形ダクトの取り付けに使用します。
- 低頭ねじ（M4 × 16）2 本  
排気口取付板の取り付けに使用します（上方排気の場合）。
- 取付ねじ（M5 × 12）4 本（600 間口は 2 本のみ使用）  
取付ベースとフード吊り金具との固定に使用します。
- 引掛ねじ（M5 × 12）2 本  
取付ベースと本体との固定に使用します。
- 取付ベース引掛桿 1 個  
取付ベースの取り付けに使用します。
- 取付ベース 1 個  
本体の取り付けに使用します。
- 排気口 1 個  
本体とダクトの接続に使用します。  
逆風防止シャッター付きです。
- ソフトテープ 1 本  
排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使用します。
- 幕板セット 1 組  
本体正面の目隠しに使用します。  
(セット内容)  
・幕板：1 枚  
・調整目隠し板上（左・右）…各 1 個  
・調整目隠し板下（左・右）…各 1 個  
・取付ねじ（φ 4.1 × 13）…6 本  
・木ねじ（φ 4.1 × 13）…6 本  
・アルミテープ …… 1 本

## 製品寸法図



## 取り付けかた

## 1. 付属品の確認

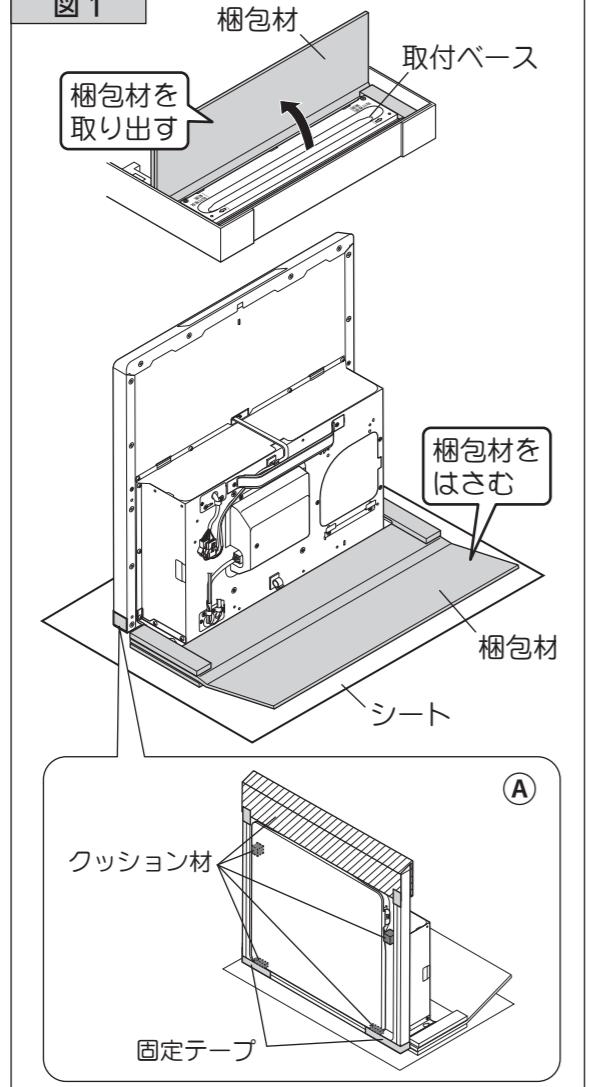
## △注意

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること  
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



付属品を確認します。  
梱包箱から付属品を取り出し、上頂中央の付属品一覧により不足がないか確認します。

- お願い**
- ・取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
  - ・保護用のクッション材とオイルガード固定テープ一式は、「6. 取扱説明書およびオイルガード固定テープの取りはずし」まではございません
  - ・床で作業する場合、本体および床にキズを付かないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。（図 1）
  - ・フード後端に貼られている固定テープ（A 参照）をはがしてください。（図 1）
  - ・本体を安定させるため、本体の背面を下にし、取付ベースの梱包材を図のようにはさんで作業をおこなってください。（図 1）



## 2. 排気方向の決定

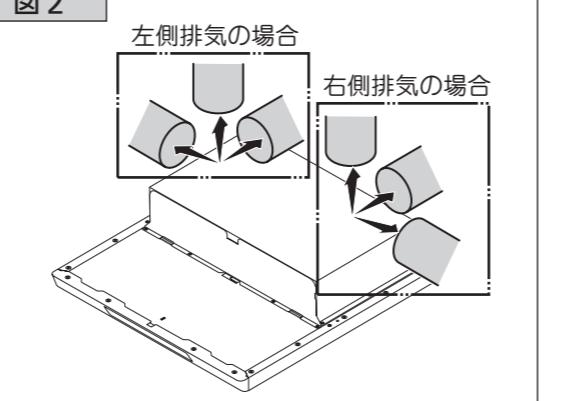
## △警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気に接触しないよう取り付けすること
- 漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
- 火災などの原因になります
- レンジフードとダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料の物質を用いて可燃物を覆うこと
- 詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

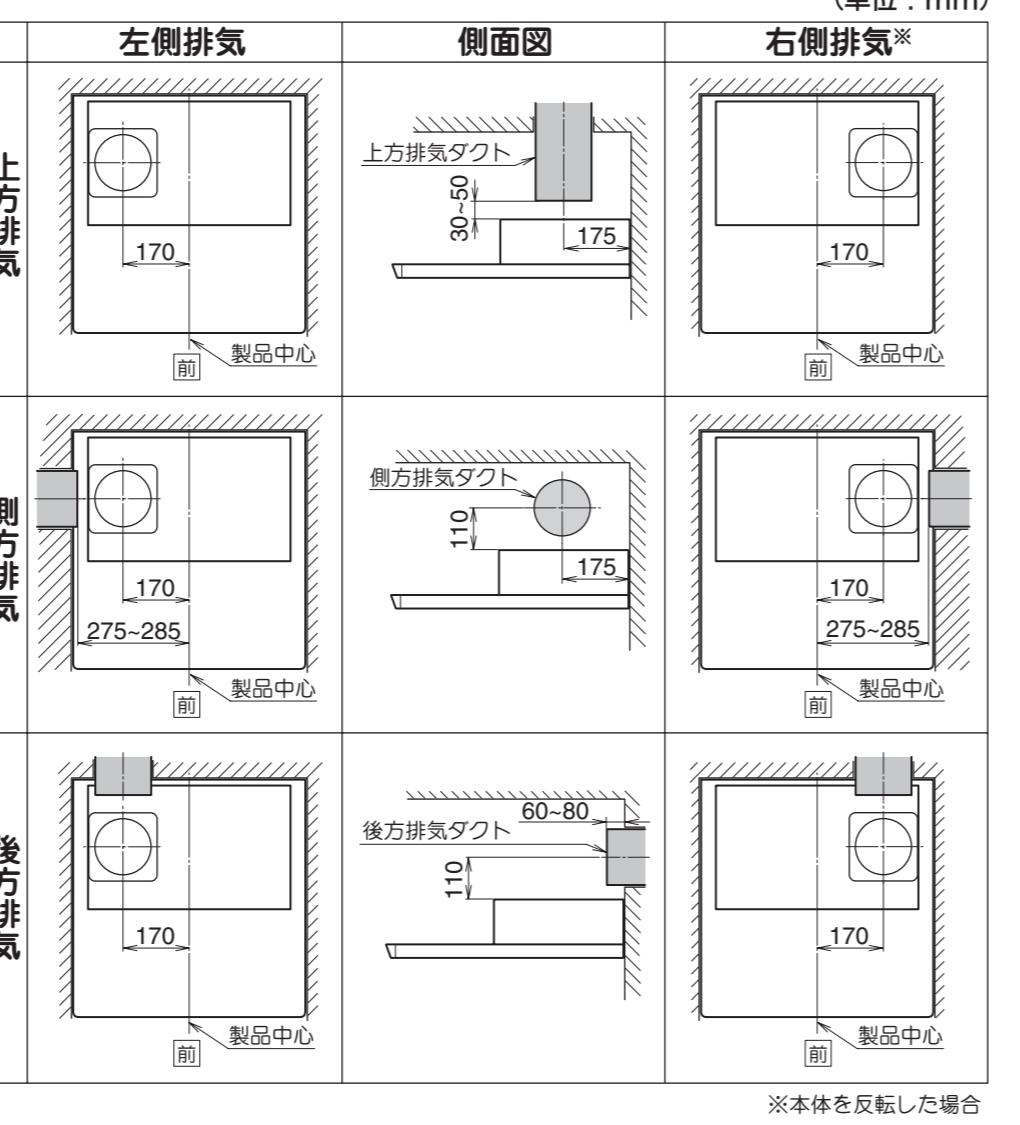
## △注意

- 浴室など温湿度の多い場所では絶対に使わないこと  
（浴室用換気扇をお使いください。）
- 感電および故障の原因になります

1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。（ダクトの風漏れ防止のテープ張り作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください。また、コンセントの位置を確認してください）



2 φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトをレンジフードの上部に突き出すようにセットして周間を仕上げてください。（コンクリート、タイル、土壁の場合）

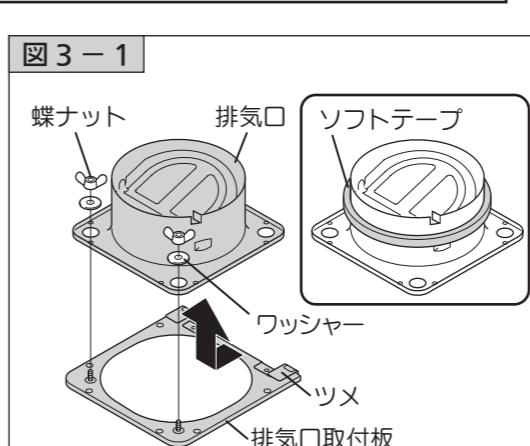


## 3. 排気用部品の準備

以下は左側排気の場合を示します。  
右側排気の場合は左右対称として見てください。

排気口をはずします。（図 3-1）

- 1) 2ヶ所の蝶ナットおよびワッシャーをはずします。
- 2) 排気口取付板のツメ（2ヶ所）から、排気口をスライドさせてはします。
- 3) 付属品のソフトテープを排気口に貼り付けてください。

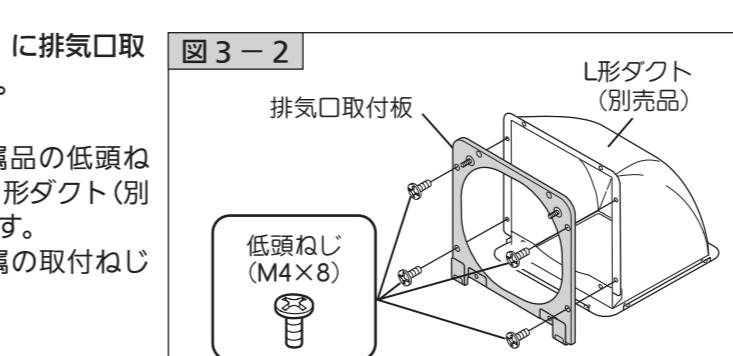


## ■ 側方排気および後方排気の場合のみ

- 1 L形ダクト（別売品）に排気口取付板を取り付けます。（図 3-2）

排気口取付板を付属品の低頭ねじ（M4 × 8 本）で L 形ダクト（別売品）に取り付けます。

\* L 形ダクトに付属の取付ねじは使用しません。

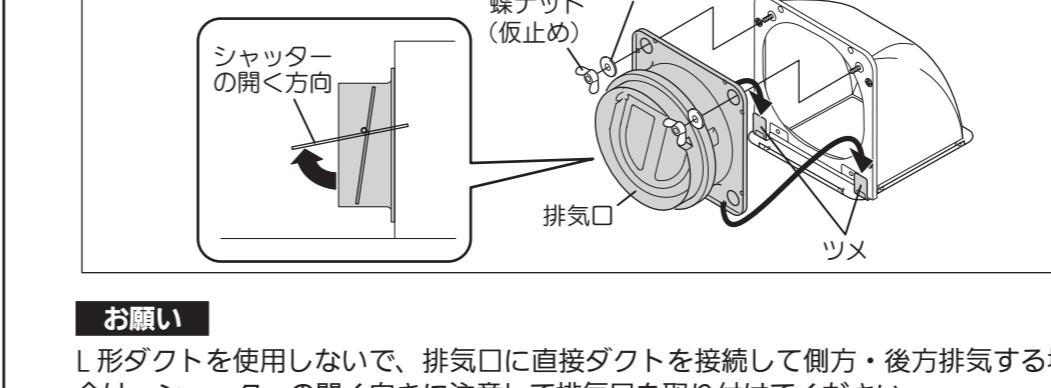


- 2 排気口取付板に排気口を取り付けます。（図 3-3）

排気口取付板のツメに排気口を差しこみ、ワッシャーおよび蝶ナット 2 個で仮止めします。

取り付け方向は、シャッターの開閉方向が下方になり、レンジフードを運転していないときはシャッターが閉じるように取り付けます。

- お願い**  
排気口を取り付ける際は、シャッターの開く向きに注意してください。  
誤った取り付けの場合、排気不良や異音の原因になります。

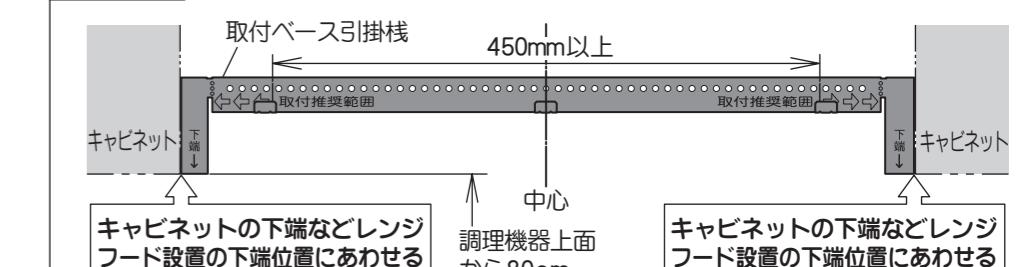


## △注意

- レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
- 落下によりけがをするおそれがあります
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
- 落下によりけがをするおそれがあります
- 設置の際、整流板を持たないこと
- 必ずフード部を持てて設置してください  
変形するおそれがあります

## レンジフードの取り付け

- 1 付属品の取付ベース引掛桿両端にある突起下部をキャビネットの下端など、レンジフード設置の下端位置に合わせます。



取り付けかたは裏面に続きます。

